

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 39 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2022 年 9 月 15 日 (木) 13:30～16:30

2. 場 所 WebEX による Web 会議

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 村上主査 (東大), 倉本幹事 (NEL), 鈴木委員 (原安進),
廣川委員 (日立 GE: 曾根田委員代理), 高橋委員 (MHI),
高橋委員 (東電 HD: 田邊委員代理), 中川委員 (原電), 成宮委員 (原安進),
野口委員 (横浜大), 田門 (関電: 藤井委員代理), 山田委員 (中部電),
与能本委員 (JAEA)

(12 名)

(常時参加者) 疇津 (九州電), 岩田 (候補: 関電), 岩谷 (NRRC), 大家 (NEL),
畑 (北海道電: 粥川代理), 高嶋 (北陸電), 武内 (四電), 中村 (関電),
前田 (北海道電), 松田 (電源開発), 馬見塚 (候補: NEL),
山本 (日本原燃), 吉岡 (中国電)

(13 名)

(傍聴者) 下白石 (九州電), 幅 (電源開発)

(2 名)

4. 配布資料

S3SC39-1 第 38 回統合的安全性向上分科会議事録案

S3SC39-2 人事について

S3SC39-3-1 IRIDM 標準英訳版 標準委員会意見募集【SC22-02】の結果

S3SC39-3-2 IRIDM 標準英訳版 標準委員会報告後の修正について

S3SC39-3-3 IRIDM 標準英訳版案

S3SC39-4-1 STC22-08_依頼文 (電子意見募集)

S3SC39-4-2 PSR+標準改定に関する標準委員会中間報告

S3SC39-4-3 PSR+標準改定標準原案 (標準委員会中間報告版)

S3SC39-5-1 PSR+指針改定検討の進め方

S3SC39-5-2 PSR+改定標準案に対する分科会コメント対応表 (標準委員会中間報告まで)

S3SC39-5-3 PSR+改定標準案に対する分科会コメント対応表 (標準案クロスチェック)

S3SC39-5-4 PSR+改定標準案 (2022/9/15 時点)

S3SC39-6 統合的安全性向上分科会スケジュール案

参考資料:

S3SC38-参考 1 統合的安全性向上分科会委員名簿

S3SC38-参考 2 IRIDM 標準講習会 開催案内 (Webex システムによる開催)

5. 議事内容

倉本幹事より、議事に先立ち、開始時点で委員 16 名中 12 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 資料確認

議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

(2) 標準委員会 2022 年度倫理教育 (S3SC39-参考 2-1, S3SC39-参考 2-2)

倉本幹事より、2022 年度 倫理教育資料の概要及び倫理規定改定内容に関する要点の説明がなされた。

また事前に参加者から倫理教育に対する意見・コメントを募っており、意見・コメント者よりその内容の紹介がなされた。

(3) 前回議事録の確認 (S3SC39-1)

倉本幹事より、資料 S3SC39-1 を用いて、第 38 回分科会議事録(案)の確認を行い、確定議事録とすることが承認された。

(4) 人事について (S3SC39-2)

倉本幹事より、資料 S3SC39-2 を用いて、以下に示すと通りの常時参加者の解除と登録が報告され、常時参加者登録につき異議なく承認された。

・常時参加者の解除【報告事項】

平野 正彦 (関西電力)

・常時参加者の登録【承認事項】

岩田 直也 (関西電力)

馬見塚 裕 (原子力エンジニアリング)

山口 哲也 (東京電力 HD)

(5) IRIDM 標準英訳版に発行に向けた議論 (S3SC39-3-1～S3SC39-3-3, S3SC39-参考 3)

倉本幹事より、資料 S3SC39-3-1～S3SC39-3-3 を用いて、IRIDM 標準英訳版の現況について以下の事項につき説明があった。

- ・2022 年 6 月 7 日～2022 年 7 月 6 日の間で標準委員会に対し IRIDM 標準英訳版の意見募集を行い、コメント無しという結果になった。
- ・“標準作成ガイドライン：2020”に則した対応として、他文献から参照される図表に関しては転載した図表の部分に出典元を明記する修正を行った。修正内容について標準委員会に報告したが特にコメントはなかった。

- ・発行に向け、まえがき、委員名簿（日本語標準の発行時点 2020 年 1 月 22 日時点）の作成、体裁の最終確認について、学会事務局と調整を実施予定。委員名簿については、本分科会参加者が、自身の関連組織の者を含めて、内容を確認する。
- ・7 月 22 日に海外の有識との意見交換を目的に、JIWG の活動の一環として、JCNRM のリスク情報活用のセクションで紹介予定。

また主な議論は、以下のとおり。

Q：軽微な修正等がある場合はいつまでなら差替え対応が可能か？

A：標準の発行は年内を目途に行われるため、今より 1 か月～1.5 か月程度であれば差替え可能と考える。

Q：JCNRM で発表することに関する国内の手続きは完了しているか？

A：リスク専門部会の活動として紹介することとしており、リスク専門部会には確認いただいている。

C：国内においては、PSR+も IRIDM のフレームワークの中に位置付けて、標準を作成して実施しているという点が特徴的である。そういった国内特有の取組を JCNRM での説明時に紹介してほしい。

(6) PSR+指針中間報告の結果（S3SC39-4-1～S3SC39-4-3）

倉本幹事より、資料 S3SC39-4-1～S3SC39-4-3 を用いて PSR+指針の中間報告の結果について以下の説明があった。

- ・システム安全専門部会に対し PSR+実施基準案の中間報告及び意見募集を実施した（8 月 8 日）。現状数件コメントがあるものの大規模な修正に係るものではない。
- ・標準委員会に対しても PSR+実施基準案の中間報告を実施した（9 月 14 日）。今後は意見募集を行う。

Q：標準委員会への中間報告の中で得られたコメントは、意見募集の中で改めて出されることとなるのか？

A：基本的にはその通りであると考えているが、中間報告の内容は議事録として整理されるため、その中でのコメントとして整理され、意見募集のコメントと合わせて対応していくことになる。

Q：中間報告は改定の論点や主要な改定項目を周知して理解してもらうことと認識しているが、それに対するコメントは出たか？

A：現状、そういったコメントは出ていない。

C：IAEA において SSG-25 の改定を開始している。Draft 版の作成については 1 年程

度要する見込みである。SSG-25 の改定内容をあらかじめ把握し、重要なものがあれば、PSR+指針に先行して反映することも考えられる。システム安全専門部会、標準員会からのコメント対応と PSR+指針のブラッシュアップを並行して進めることが望ましい。

(6) PSR+指針改定検討の進め方に関する議論 (S3SC39-5-1～S3SC39-5-4)

倉本幹事より、資料 S3SC39-5-1～S3SC39-5-4 を用いて PSR+指針の指針改定検討の進め方に関して以下の説明があった。

- ・ S3SC39-5-1 における「④標準の構成，記載体裁の適正化」までは完了している。今後は「⑤中間報告，分科会でのクロスチェック」以降の作業を実施する。

<クロスチェックの進め方について>

- ・ クロスチェックは中間報告版を対象に，中間報告時点からのコメント（S3SC39-5-3）をクロスチェックの観点の参考として，S3SC39-5-3 のフォーマットにコメントを追記する形で実施する。
- ・ 中間報告時点の資料に対しコメント抽出する。
- ・ PSR+指針に対する確認担当を割り当てる。割り当ての際にはドラフト版作成担当とは異なる委員，常時参加者とする。ただし，コメントの抽出については自身の担当によらず抽出しても問題ない。
- ・ コメント者が考える修正方針がある場合はコメントと併記する形で修正方針も合わせて記載する。
- ・ 最終的なコメント反映方針の決定は，PSR+指針ドラフト版作成時の分担に基づいて実施する。
- ・ コメント抽出作業については 10 月 20 日頃を目途に確定させる。（抽出されたコメントに対する修正方針についてはこれ以降も議論を続ける）
- ・ 附属書も含めたクロスチェックの分担を事務局で作成する。

C：S3SC39-5-3 資料のコメント No.22 の内容は，既存の標準に誤記を含んでいる可能性がある。

C：誤記載に関するガイドラインに基づいて，正誤表を作成していく必要があり，これらプロセスは三役において確認し手続きを進めていくこととする。

(7) IRIDM 標準講習会の報告 (S3SC39-参考 4)

倉本幹事より，S3SC39-参考 4 を用いて，IRIDM 標準に対する講習会の説明を行った。

(8) 今後の予定（分科会検討スケジュールの確認）（S3SC39-6）

倉本幹事より、資料 S3SC39-6 を用いて、今後の予定について確認した。

<次回分科会について>

- ・ 次回分科会（第 40 回）については、11 月 11 日を候補とする。
- ・ 第 41 回は IRIDM 標準英訳版や PSR⁺指針に対し大規模な修正が無ければ 1 月実施を予定。

以 上